

平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年7月22日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アジュバンコスメジャパン

コード番号 4929 URL http://www.adjuvant.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井 健二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 中川 秀男 TEL 078-351-3136

四半期報告書提出予定日 平成28年7月29日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年3月21日～平成28年6月20日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	1,086	△4.5	164	△20.1	163	△35.3	147	△0.9
28年3月期第1四半期	1,138	6.7	206	3.1	253	26.3	148	44.8

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 132百万円 (△10.3%) 28年3月期第1四半期 148百万円 (43.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	18.50	18.40
28年3月期第1四半期	18.91	18.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	5,816	4,337	74.6	548.42
28年3月期	5,500	4,441	80.7	558.00

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 4,337百万円 28年3月期 4,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	ー	0.00	ー	24.00	24.00
29年3月期	ー				
29年3月期(予想)		0.00	ー	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年3月21日～平成29年3月20日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,474	13.3	380	5.3	380	△10.5	222	△10.9	27.99
通期	5,135	16.7	768	18.8	769	8.8	450	69.4	56.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料4頁「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年3月期1Q	7,959,600株	28年3月期	7,959,600株
29年3月期1Q	50,000株	28年3月期	—株
29年3月期1Q	7,959,057株	28年3月期1Q	7,855,200株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

(注) この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人所得の伸び悩みや為替相場の変動による株式市場の不安定な動向により、依然として先行き不透明な状況が続いております。美容業界におきましては、顧客単価の下落、来店サイクルの長期化等、サロン※注1経営において厳しい環境が続いており、当社商品を販売するA・C・Sサロン※注2においても同様の影響がありました。

このような状況のもと、当社グループは、引き続き営業方針を「顧客の創造・顧客の固定化」「カウンセリングの徹底」「知識・技術習得の強化」「年間販促計画（キャンペーン）の活用推進」として掲げ、サロンの安定した経営サポートを目指しながら、既存主力商品の拡充に注力いたしました。

グループ経営においては、連結子会社であったイノベーション・アカデミー株式会社の吸収合併、エクシードシステム株式会社を新たに子会社化するなど中長期的な展望による組織再編を進めております。その一方で、近年より取り組んでおります非正規流通取引先※注3との契約解除の徹底により売上高は減少いたしました。

なお、A・C・Sサロン登録軒数につきましては、当第1四半期連結会計期間末で7,315軒（前期末比118軒増）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,086百万円（前年同期比4.5%減）となりました。人件費の増加や研究所の本稼働による研究開発費の増加により利益面では、営業利益164百万円（前年同期比20.1%減）、前年同期の保険解約返戻金及び受取補償金計上の影響により経常利益163百万円（前年同期比35.3%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は147百万円（前年同期比0.9%減）となりました。

区分別売上高は、売上割戻金を含めて次のとおりであります。

区分	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減額	増減率
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	（%）
スキンケア	539	47.4	517	47.6	△22	△4.1
ヘアケア	631	55.5	605	55.7	△25	△4.1
カラー剤	12	1.1	12	1.2	0	6.1
その他	32	2.9	31	2.9	△1	△4.2
売上割戻金	△77	△6.9	△80	△7.4	△2	—
合計	1,138	100.0	1,086	100.0	△51	△4.5

- (注) 1. ADJUVANT HONG KONG COMPANY LIMITED（連結子会社）の売上高は、金額が僅少であるため、「その他」に含んでおります。
2. 当第1四半期連結累計期間より、従来「その他」に区分しておりました「ボディンリーズ」を「スキンケア」に含めております。また、平成28年3月21日付でイノベーション・アカデミー株式会社を吸収合併したことに伴い、「その他」に区分しておりました同社の売上高を各区分に組み替えております。この結果、前第1四半期連結累計期間の売上区分の組み替えを行っております。
3. 売上割戻金は、商品ごとではなく売上高の合計を基準として割戻率を設定しているため、区分ごとに配賦せず合計額で表示しております。

国内海外別売上高は次のとおりであります。なお、海外売上高の主な地域はアジア地域であります。

区分	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減額	増減率
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	（%）
国内売上高	1,073	94.3	998	91.9	△74	△7.0
海外売上高	64	5.7	87	8.1	23	35.9
合計	1,138	100.0	1,086	100.0	△51	△4.5

当社グループは、単一セグメントであるためセグメント別の記載はしておりませんが、区分別売上高の概要は以下のとおりであります。

(スキンケア)

スキンケア商品の売上高は、A E クリアジェルの販売が好調に推移いたしました。非正規流通取引先との契約解除による売上減少を補うには至りませんでした。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は517百万円(前年同期比4.1%減)となりました。

(ヘアケア)

ヘアケア商品の当第1四半期連結累計期間の売上高は605百万円(前年同期比4.1%減)となりました。

(カラー剤)

専任担当者が全国のA・C・Sサロンに積極的に営業活動を行い、当社のカラー剤であるRe:)>>>ナチュラルカラーの拡散に取り組んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は12百万円(前年同期比6.1%増)となりました。

(その他)

MAPシステム※4におきましては、当第1四半期連結会計期間末における契約件数が261件(前期末比4件減)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は31百万円(前年同期比4.2%減)となりました。

※注1「サロン」

美容室、理容室、エステティックサロンを指します。

※注2「A・C・Sサロン」

初回に100千円以上の仕入を行い、当社グループが指導する商品の案内方法等を定めたA・C・S加盟規約を遵守することを確約したサロンを指します。

※注3「非正規流通取引先」

カウンセリングを行わずインターネット等による販売を行うA・C・Sサロン、代理店を指します。

※注4「MAPシステム」

サロンの顧客管理、経営分析のために提供しているクラウド型経営サポートシステムを指します。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して315百万円増加し、5,816百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して182百万円増加の4,062百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金の増加320百万円、受取手形及び売掛金の増加213百万円、商品及び製品の増加108百万円、コマーシャルペーパーの償還による有価証券の減少499百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して133百万円増加の1,754百万円となりました。主な変動要因は、エクシードシステム株式会社を連結子会社にしたことに伴うのれんの計上94百万円によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して237百万円増加の882百万円となりました。主な変動要因は、買掛金の増加67百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加90百万円、賞与引当金の増加47百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して181百万円増加の595百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金の増加153百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して103百万円減少の4,337百万円となりました。主な変動要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加147百万円、配当金の支払による減少191百万円、エクシードシステム株式会社を連結子会社にしたことに伴う自己株式の取得による減少45百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期及び通期の業績予想につきましては、前回発表(平成28年4月22日)の連結業績予想からの変更はありません。今後の業績推移等によって当第2四半期及び通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,288,526	2,609,048
受取手形及び売掛金	445,962	659,706
有価証券	499,994	—
商品及び製品	467,656	576,020
原材料及び貯蔵品	18,419	26,569
その他	162,846	199,882
貸倒引当金	△3,644	△9,112
流動資産合計	3,879,761	4,062,115
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	770,490	784,671
その他	585,206	635,441
減価償却累計額	△373,757	△419,338
有形固定資産合計	981,938	1,000,775
無形固定資産		
のれん	—	94,595
その他	44,615	41,254
無形固定資産合計	44,615	135,850
投資その他の資産		
その他	600,082	623,253
貸倒引当金	△5,730	△5,730
投資その他の資産合計	594,351	617,522
固定資産合計	1,620,905	1,754,148
資産合計	5,500,667	5,816,263
負債の部		
流動負債		
買掛金	125,661	193,108
1年内返済予定の長期借入金	—	90,469
未払法人税等	147,731	70,116
賞与引当金	104,589	152,398
その他	267,071	376,451
流動負債合計	645,053	882,544
固定負債		
長期借入金	—	153,579
退職給付に係る負債	35,465	32,637
役員退職慰労引当金	341,000	345,830
資産除去債務	26,631	30,862
その他	11,043	33,026
固定負債合計	414,139	595,935
負債合計	1,059,192	1,478,479

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	757,176	757,176
資本剰余金	717,107	717,107
利益剰余金	2,970,524	2,926,753
自己株式	—	△45,550
株主資本合計	4,444,808	4,355,487
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△17,326	△22,440
為替換算調整勘定	13,992	4,735
その他の包括利益累計額合計	△3,334	△17,704
純資産合計	4,441,474	4,337,783
負債純資産合計	5,500,667	5,816,263

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月21日 至平成27年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月21日 至平成28年6月20日)
売上高	1,138,413	1,086,835
売上原価	411,514	388,215
売上総利益	726,898	698,619
販売費及び一般管理費	520,443	533,734
営業利益	206,454	164,885
営業外収益		
受取利息	258	328
受取配当金	780	27
保険解約返戻金	21,271	—
受取補償金	21,542	—
為替差益	1,584	—
雑収入	2,030	313
営業外収益合計	47,467	669
営業外費用		
支払利息	37	103
保険解約損	535	—
為替差損	—	1,534
雑損失	1	2
営業外費用合計	574	1,640
経常利益	253,348	163,914
特別利益		
投資有価証券売却益	1,431	22
段階取得に係る差益	—	27,442
特別利益合計	1,431	27,465
特別損失		
固定資産除却損	554	—
特別損失合計	554	—
税金等調整前四半期純利益	254,225	191,379
法人税、住民税及び事業税	114,387	62,803
法人税等調整額	△8,704	△18,683
法人税等合計	105,682	44,119
四半期純利益	148,542	147,259
親会社株主に帰属する四半期純利益	148,542	147,259

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月21日 至平成27年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月21日 至平成28年6月20日)
四半期純利益	148,542	147,259
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41	△5,113
為替換算調整勘定	△389	△9,256
その他の包括利益合計	△347	△14,369
四半期包括利益	148,194	132,889
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	148,194	132,889
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、アジュバン化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。